

嘉麻市社協だより

えがお

発行日 2010.10.1

No.56

いつまでも
いきいきと

～健康体操サークルの様子～



発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

増える自然災害 備えと連携がキーワード!!

『災害は忘れたころにやってくる』という諺ことわざがありますが、最近では、忘れる間もないほどに、ゲリラ豪雨による水害が毎年のように発生しています。昨年7月24日の夕方から26日にかけて集中的に降り続いた大雨は、飯塚市をはじめ嘉麻市にも大きな被害をもたらし、「福岡県7月豪雨災害」として記録されています。

や運営に必要な事柄、また、行政の災害対策本部との連携のあり方など、多くのことを学ぶことができましたので、そのことを踏まえつつ、本市における今後の取り組みについて考えてみたいと思います。

この災害発生時、飯塚市社会福祉協議会は、飯塚市からの要請を受けて、7月25日の午後3時に飯塚市災害ボランティアセンターを設置し、8月26日までの23日間、延べ1,300人を超えるボランティアを受け入れて、災害救援活動に取り組みました。

飯塚市での災害ボランティアの主な活動は、床上浸水等の被害に遭われた一人暮らし高齢者や障がい者世帯、自助による対応が困難な方を対象とし、その方々の要望に応じて、畳上げや家具の移動・片付け、ゴミ出し、がれきの撤去などが行われました。それらは、行政ではなかなか手の届きにくい支援ニーズであり、ボランティアの力を必要とするところだと思っています。

本会の職員2名も8月3日と4日に災害救援活動にボランティアとして参加しました。わずか2日間の参加ではありませんが、この中で、災害ボランティアセンターの立ち上げ

実際に本会の職員2人も、床上浸水した家屋からの家財の運び出しや廃棄家財の収集、引越し先である市営住宅への搬入等に従事し、あらためて、被災された方々の生活再建には、

きめ細やかな支援と、それに対応できる数多くの救援ボランティアが必要であることを実感しました。

また、災害ボランティアセンターの立ち上げについては、飯塚市の場合は、行政に災害対策本部が立ち上がると、社会福祉協議会も災害ボランティアセンターを立ち上げるという関係が築かれているほか、行政が設置した相談窓口にも社協職員を派遣して、ワンストップで総合的な災害支援ができる体制がとられていたことは、大変参考になると同時に、本市においてもこのような関係を築いていくことが必要であると感じたところです。

さらに、災害ボランティアセンターの運営については、多くのボランティアの力を災害救援活動につなげていくためには、センターとしてのコーディネート力(調整力)が必要で、特に時間とともに変化する災害支

援ニーズの把握、そのニーズにボランティアを派遣できるかどうかの判断とマッチングの重要性を感じました。また、いつ発生するかわからない災害に備えるという意味でも、必要機材や用具(拡声器、ホワイトボード、一輪車、携帯ラジオ、スコップ、バケツ、軍手、ロープなど)を準備しておくことも大切であることがわかりました。

災害発生時における対応は、事前の備えや体制づくり、また訓練等をしていなければ、ある意味ぶっつけ本番とならざるを得ず、災害ボランティアセンターとしての役割を十分果たせないこともでてきますので、

そうならないためにも、前述した事柄等について、早急に取り組みを進めていくことが必要であると感じています。そのため、本会としては、まず、災害ボランティアセンターの運営シユミレーション訓練を実施することにしていきます。

また、市民の皆様におかれましては、日頃から災害に備えるという意味で、ご自身の住んでいる地域の避難所や危険箇所の確認、さらには、緊急時の連絡方法の確立、非常時持ち出し

品の準備等をすすめておくことも、重要なのではないかと思います。

今日の異常気象を考えると、台風による大雨被害等の発生もますます増えることが予想され、また、地震もいつどこで発生するかわかりません。

何らかの災害が発生した場合、その救援のすべてを行政に頼ることはできませんので、その意味では、日頃から市民一人ひとりが災害への備えをすすめるとともに、災害が発生した場合には、行政と関係機関、ボランティア等が連携して災害救援活動を行える環境を同時に備えておくことが必要となつてきますので、そのための一歩を踏み出して行けたらと思います。



身近な人にしか できないことがある

虐待予防に向けて公開研修会を開催



このところ、児童虐待に関するニュースが途切れることはありません。大阪府で3歳と1歳の姉弟が母親(23歳)に放置され、遺体で見つかった事件は記憶に新しいことと思います。他にも、久留米市で、5歳の女兒の首を絞めたなどの殺人容疑で母親(34歳)が逮捕されるといった事件が起きています。久留米市で逮捕された母親は、子どもを「洗濯機に入れて回したことがある」とも話し、大きく報道されました。

嘉麻市でも、要保護児童に対する支援を行うために関係機関で構成される要保護児童対策会議が4地区で開催されており、虐待が疑われるケースは、年々増加傾向にあるそうです。

このような中、9月13日(月)、なつき文化ホールにおいて、『虐待から子どもを守る

地域ネットワークとは』をテーマに、公開研修会を開催しました。この研修会は、地域福祉部研修会の一環として開催したもので、行政区長や福祉部長、福祉推進員、民生委員・児童委員、子育て中心の方など94名が来場され、その関心の高さが伺われました。

講師には、北九州市児童相談所子どもケアにあたり、現在は、西南学院大学人間科学部社会福祉学科で、児童虐待の予防と対応について研究されている安部計彦氏をお招きしました。

安部先生は、児童虐待の種類や影響、相談件数等を説明された後、大阪市や久留米市の事件のことに触れ、実の母親が主たる虐待者となってしまう原因は、母親が育児の負担を背負っていることを意味するもので、育児負担やストレスを軽減するための支援が必要で、その支援が見えていくと話されました。

また、地域の近隣住民としてできる具体的な支援として、『地域の子どもたちやその保護者に、隣人として声をかけること』を提案されました。日常的な挨拶や声かけが、安心感を与えたり、変化に気づききっかけとなったりするそうです。

参加された方からは、「挨拶や声かけが、児童虐待の予防につながっていることを聞き、驚きました。自分にも何かできることがわかり、勉強になりました。」との声も聞かれました。

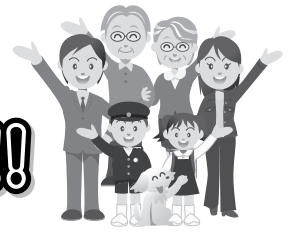
今回の研修会で、児童虐待を予防するためには、『地域でできること』や『身近な人にしかできないこと』があること、地域で助けあうネットワークがあれば、それが予防へとつながることを学びました。

また、育児を支援するということでは、各行政区で行われている祭り等の行事や地域福祉部行事への参加を呼

びかけることも地域でできる大切な事柄です。

現在、本会でも、おしゃべりサロンの開催等を通じて、子育てを支援しており、この取り組みが少しでも育児負担の軽減につながればと考えています。これからの未来を担う子どもたちがのびのびと成長していくためには、地域で子育てを支援するという環境や取り組みが必要で、そのことが児童虐待を予防することにつながることをあらためて実感した研修会となりました。





知り合おう!! 伝えよう!!

みんなの活動、地域のホットニュース!!

若さと健康を保つ秘訣は…

日に日に秋の気配が感じられるようになり、体を動かしやすい季節になってきました。秋のサークル活動も活発になっていくよう、先日、稲築保健センター3階で行われた「健康体操サークル」におじゃますると、音楽に合わせて、のびのびと体を動かしている安部トシ子さん（口春）の姿がありました。

安部さんは、もうすぐ90歳を迎えるそうですが、その動きは、年齢をまったく感じさせず軽快で、病院に通うこともなく、毎日元気に過ごしています。

そこで、今回は、元気いっぱいの安部さんに若さと健康を保つ秘訣を伺いました。

まず、一つ目は、『健康体操サークル』です。公民館で行われた老人大学への参加で知り合った仲間と一緒に、80歳で健康体操のサークル

活動を始め、今年で10年目を迎えます。毎回休むことなく、いきいきと体操に励む安部さんの姿は、サークルの仲間内でも憧れとなっています。また、一緒に参加している仲間との会話をとても楽しみにしており、サークルを通じた様々な人との出会いに感謝しているそうです。

二つ目は、『熱中できる趣味を持つこと』です。手先が器用な安部さんは、自分の着物や洋服を縫ったり、余



元気いっぱい体を動かす安部さん(中央)

った着物の端切れを使ってお手玉作りをしています。自宅には、そのお手玉が並んでおり、友人や自宅を訪れたお客さんなどにプレゼントすると、

大変喜ばれるそうです。また、毎年お正月になるとお手玉を一つずつ箱に入れていくので、現在は安部さんの年齢と同じ89個にもなっており、100個になるまでつくり続けることを目標にしています。

三つ目は、『物事を楽天的に考えること』です。辛かった事や悲しかった事でも考え方を変えてみると、楽しかったと感じる事ができる。言い、前向きな気持ちを常に持ち続けることを心がけています。

また、「これからの夢は何



ですか？」と尋ねると、安部さんは、「毎日が夢です。『明日』と言う字は『明るい日』と書きます。昨日今日出来なかつたことが、明日には出来るかもしれませぬ。希望があります。」と語ってくれました。

若さと健康を保つ秘訣は、適度な運動や食生活の改善などが挙げられますが、熱中できる趣味を持つことや前向きな気持ちを持つことも、その要素となるようですので、みなさんも参考にしてみてくださいか。



嘉麻市支会だより

10月1日から全国一斉に 赤い羽根共同募金運動がはじまりました

ハートがつなぐ地域の輪
...赤い羽根共同募金

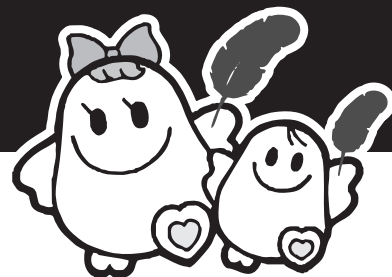
共同募金は、身近な地域福祉活動に使わせて
いただいています

10月1日～12月31日

今年も10月1日から12月31日までの3カ月間、『ハートがつなぐ地域の輪』をキャッチフレーズに赤い羽根共同募金運動がはじまりました。

この募金運動は、都道府県を単位として、全国一斉に行われるもので、お寄せいただいた募金は、私たちのまちの民間の社会福祉事業や地域の福祉活動を支える財源として役立てられています。(平成23年度に配分されます。)

今年度も、無理のない範囲でみなさまのあたたかいご協力をお願いします。



8,095,959円を目標額として、募金運動を推進します

街頭募金 (10月1日～4日)	戸別募金 (10月初旬～下旬にかけて)	職域募金 (10月中旬～11月下旬にかけて)	法人募金 (11月初旬～下旬にかけて)	キャラクター募金箱募金 (年間を通じて)
市内のスーパー、コンビニ等の街頭で、協力を呼びかけます。	各行政区の区長さん、組長さんを通じて、協力を呼びかけます。	各事業所等の職場に、募金資材(バッジ、ネクタイピン、クオカード等)の購入を呼びかけます。	法人企業等に協力を呼びかけます。	市内のスーパー、コンビニ等に募金箱を設置させていただいています。

※共同募金への寄附金には、税の特典があります。会社などの法人としての寄附金は、全額損金に算入することができます。また、個人での寄附金は、所得税控除の対象となります。

■共同募金に関するお問い合わせは、福岡県共同募金会嘉麻市支会までお願いします。電話 0948-20-5225
詳しい情報をお知りになりたい方は、中央共同募金会のホームページ <http://akaihane.or.jp>をご覧ください。

平成22年度は、**嘉麻市の福祉充実のために18,055,700円が配分され、** 次のような事業に役立てられています。

社会福祉施設の整備のために

●軽費老人ホーム三光園へ…5,000,000円
(施設の改修工事費として)



●知的障害者更生施設筑豊学園へ…8,000,000円
(施設の改修工事費として)



身近な地域の福祉を充実するために

●嘉麻市社会福祉協議会へ…5,055,700円
(地域福祉事業費・活動費として)



寄ってこハウス(漆生南部)で交流会



毎月発行している広報紙「えがお」



碓井千歳会館内に設置する子育てリユースセンター

福岡県共同募金会嘉麻市支会の新役員紹介

(任期:平成22年6月1日～平成24年5月31日)

役職	氏名	役職	氏名
会長	村上 曙生	理事	仲野千鶴子
副会長	赤間 秀人	〃	仲道 輝子
理事	平田 千敏	〃	伊藤 義照
〃	犬丸 和昌	〃	斉藤昇二郎
〃	渡辺 和徳	〃	橋本 忠輝
〃	越岡加代子	〃	坂口 繁
〃	仲島 隆生	監事	小山 寧子
〃	正中久仁子	〃	深川 貢
〃	丸山 光男		〈敬称略〉

キャラクター募金箱設置協力店 募集中

キャラクター募金箱の設置を通じて、共同募金にご協力いただける協力店等を募集しています。

ご協力をいただける場合は、下記までご連絡いただければ幸いです。

福岡県共同募金会
嘉麻市支会

電話0948-20-5225



福祉用具を上手に活用するも

在宅介護の「も」

「在宅介護者の集い」の勉強会

福岡市市民福祉プラザ内にある福祉介護実習普及センターの福祉用具展示室には、ベッド、トイレ、入浴用品や家庭用リハビリ用品、自助具など1,000点を超える介護用品が展示されています。

9月9日(木)、在宅介護者の集い「こころ」のメンバー6名が同センターを見学しました。

センターの職員からは、電動ベッドの柵やマットレスの選び方、箸や食器などの自助具の使い方について説明を受けました。また、「室内で使用する車いすは、後輪ができるだけ中央についているものを選ぶと、小回りが利きやすいですよ。ただ、後ろに倒れやすくなるので、



注意も必要です。」などのアドバイスや「在宅介護を続けるためには、介護者の身体的な負担

を少しでも取り除くことが大切で、そのためにも福祉用具を上手に活用してください。」との話もありました。

皆さんは、福祉用具の種類の多さに驚くとともに、介護を受ける人はもちろん、介護者の状態にも合わせた福祉用具選びが大切であることを学び、「これまで福祉用具のことはケアマネジャーや業者の方に任せきりにしていたけれど、これを機会に、もう一度今使っている福祉用具について、ケアマネジャーに相談してみたい。」との声も聞かれました。

この在宅介護者の集い「こころ」は、毎月第二木曜日に寄つてこハウス(漆生南部)で定例会を開催し、介護に関する情報の交換や交流を行っています。また、介護技術などについて学ぶ勉強会も定期的に開催していますので、現在、在宅介護をしている方、介護経験のある方、介護に関心のある方はぜひご参加ください。



ふれあい・いきいきサロンにおじゃましました NO.7 尾浦第一サロン

このコーナーでは、市内で開催されている「ふれあい・いきいきサロン」の様子をお伝えしています。

9月15日(水)、山田地区の尾浦第一集会所で行われたふれあい・いきいきサロンにおじゃましました。

尾浦第一サロンは、毎月第3水曜日(8月と12月を除く)に開催されていて、カラオケやお茶を飲みながらのおしゃべりを楽しんでいます。

当日は、介護予防のために出前講座が開催され、リハビリ運動について学びました。その後、お弁当を食べ、のんびりとした時間を過ごしました。

参加された12名中、10名が80歳以上だそうですが、若い頃からの知り合いも多く、月に一度みんなであつておしゃべりすることをとても楽しみにしているそうです。

サロンの運営が難しくなり、存続が心配されたこともあったそうですが、この集まりがなくなったら寂しいという意見が多かったので、自分たちの力で何とかできる方法を考え、現在に至っているそうです。

代表の栗山光子さんは、「参加者は、ひとり暮らしの方が多く、サロンでのおしゃべりが情報交換の場になっていますよ。」とサロンの大切さを強調されました。このサロンは、行政区の方なら誰でも参加できるそうですので、一度見学してみたいはいかがでしょうか。



ボランティアグループ紹介 No.7

牛隈交通公園を美しくする会

●活動内容を教えてください。

牛隈交通公園を美しくする会(代表^{ゆりほ}樺ひろ子さん)は、旧大隈駅跡の牛隈交通公園周辺の環境美化に取り組んでいるグループです。現在は、下牛隈地区の住民10名が会員となって道路沿いに整備されている花壇への花植えや肥料やり、草とりなどを行っています。

また、年に2回行う花植えの際には、下牛隈地区の住民の皆さんにも参加を呼びかけ、毎年50名を超える方に協力していただいています。

●活動を続ける中で、どのようなときに喜びを感じますか。

花壇の手入れを始めて今年でちょうど10年目になりますが、少しずつ定着し、花植えに参加することがお互いの交流になってきています。また、以前会員が草とりをしている姿を見た福祉施設から「手伝いたい」との申し出をいただき、協力してもらったこともあります。その他にも花苗や耕具を提供していただくなど、この活動を通じて、いろいろな人とのつながりが生まれてきていることがうれしいですね。

●これからの目標をお聞かせください。

花植えにはたくさんの住民の方に協力していただいています。草とりや肥料やりなどの作業は会員だけで行っています。例えば、花壇の近くに作業日を知る看板を設置するなど、住民の方が参加しやすい工夫をして、自主的に参加していただける方を増やしていきたいですね。

「自分たちが手入れしている」という意識が広がれば、周辺の環境美化も自然と進んでいくと思います。



ボランティア募集情報

秋まつりのお手伝い

シルバーケア嘉穂

日時 11月6日(土)午前10時～午後3時

活動内容 秋まつりのお手伝い(主に模擬店を担当)

募集人数 10名程度(高校生以上)

募集締切 10月25日(月)

その他 動きやすい服装(エプロンがあればお持ち下さい。) 昼食は主催者で準備します。(水筒の準備をお願いします。)

学習発表会のお手伝い

嘉穂特別支援学校

日時 10月23日(土)午前9時～午後0時30分

場所 嘉穂特別支援学校体育館

活動内容 発表会中での児童生徒のお世話、大道具・小道具の出し入れ等

募集人数 3～5名程度

募集締切 10月15日(金)

その他 昼食は学校で準備します。

「命」を守る活動にご参加ください!!

もうすぐ、路上生活をされている方々にとって、厳しい冬がやってきます。この季節は、体調を崩して、病院に救急搬送されたり、路上で誰にもみとられることなく亡くられるなど、最も「命」が危険にさらされる時期でもあります。本会では、この大切な「命」を守るため、今年も越冬支援物資を募集し、届けたいと思いますので、ぜひご協力ください。



《越冬支援物資の募集》

【募集期間】

平成22年10月1日(金)～平成23年1月31日(月)

【募集する物資】

男性用ジャンパー、毛布、軍手、手袋、マフラー

【お届けいただく際の注意点】

- ・上記以外の物資はご遠慮ください。
- ・物資は使用可能で、洗濯されたものに限ります。
- ※物資を確認させていただき、汚れや損傷がひどい場合はお断りすることもあります。

《支援活動ボランティアとして参加》

【日時】

平成22年12月10日(金)
午後6時稲築住民センター出発 午後11時帰着予定

【活動内容】

NPO法人北九州ホームレス支援機構が実施する炊き出しや市内の巡回活動に参加します。

【募集人数】

3名程度(18歳以上の方)

ふれあい千歳新聞

第3回 碓井千歳会館フリーマーケットにご来場ください

碓井千歳会館を会場に第3回フリーマーケットを開催いたします。当日は、花の苗、陶芸・手芸品などが販売されますので、ご家族、お友達をお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

なお、車でお越しの方は、通所介護うすいの里及びうすい人権啓発センターあかつきの駐車場をご利用ください。

- 日時 平成22年10月17日(日)午前10時～午後2時
- 会場 碓井千歳会館駐車場(住所:下臼井1050番地19)
(雨天の場合は会館内の大会議室で行います。)
- お問い合わせ先 碓井千歳会館 電話 0948-62-3538

山田ふれあいハウス 閉館時間変更のお知らせ

平成22年11月1日(月)から平成23年3月31日(木)まで、閉館時間が下記のとおり変更となりますので、よろしくお願いたします。

- 閉館時間 午後5時
- お問い合わせ先 山田ふれあいハウス
電話0948-52-1847

嘉麻市社会福祉協議会指定

葬祭場紹介

かほ葬祭 あじさい会館

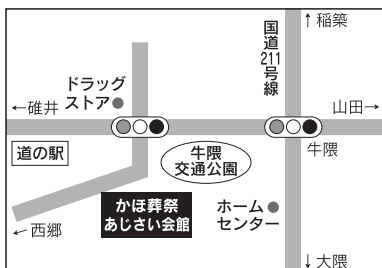
嘉麻市西郷150-1 ☎(0948)62-5566

葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝え下さい。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。



- 24時間、承ります。
- 真心こめて、お手伝いさせていただきます。

【案内図】



知っておきたい

葬儀マナー・基礎知識 no.41



今回ご回答頂くのは…
かほ葬祭
あじさい会館
山下信治さん

Q きょうか ご供花を贈りたいのですが、どうすればよいですか？

A 供物や生花を飾るスペースがないという事で辞退される場合もありますので、事前に喪主や施主に確認を取りましょう。また、他の供物やご供花とのバランスもありますので、葬儀社の連絡先を確認し、その葬儀社にも相談すると良いでしょう。通夜当日の午前中までに手配しないと、間に合わないこともありますので、ご注意ください。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、かほ葬祭 あじさい会館を含め、市内に8カ所あります。

善光会館 稲築会場……………☎83-5000	ひさつね会館……………☎52-0758
おかむら葬祭岡村会館……………☎42-4420	いすや会館……………☎57-4444
飛鳥会館 南斎場……………☎42-4241	セレモニーホールおおつか……………☎52-1212
きど葬祭やまさ碓井斎場……………☎62-4499	

嘉麻市の住民の皆様から、
ご寄附をいただきました。
心より厚くお礼申し上げます。



香典返し

8月16日～9月15日受付分

【鴨生第二】

親族 三宅 涼子 様

【辻中籠】

親族 大 山 利美 様

【平山】

親族 松 尾 茂基 様

【笹原】

親族 吉 門 忍 様

【上白井下】

親族 村 田 弘富 様

【西川】

親族 山 中 正利 様

【石ヶ崎】

親族 吉 田 定男 様

【牛隈北区】

親族 尾 畑 智博 様

【枝坂】

親族 藤 川 繁高 様

【山野第二】

親族 井 上 誠二 様

【漆生本村】

親族 芳 野 道子 様

【漆生中央】

親族 大 里 玲子 様

【漆生南郡】

親族 宇 野 幹雄 様

【平第一】

親族 平 慶子 様

【緑ヶ丘】

親族 河 野 博行 様

【宮地】

親族 松 本 佳代子 様

【中益】

親族 大 西 タキノ 様

故 大 西 君郎 様

親族 野 見山 初枝 様

故 野 見山 俊 様

【下益】

親族 石 橋 年彦 様

故 石 橋 エイ 様

親族 有 馬 愛子 様

故 有 馬 須美雄 様

【上山】

親族 是 枝 美重子 様

故 是 枝 文雄 様

【九郎原】

親族 山 本 隆子 様

故 山 本 巖 様

【嘉穂才田】

親族 原 田 昇 様

故 原 田 キミエ 様

【泉河内】

親族 青 柳 みよこ 様

故 青 柳 政利 様

初盆返し・寄附

8月16日～9月15日受付分

【漆生本村】

親族 梅 野 忠男 様

故 梅 野 カズコ 様

親族 田 中 武美 様

故 田 中 アサ子 様

親族 佐 土島 正勝 様

故 佐 土島 正志 様

親族 野 見山 俊二 様

故 野 見山 千代子 様

【西岩崎】

親族 溝 口 節子 様

故 溝 口 数人 様

親族 金 丸 嘉信 様

故 金 丸 喜多子 様

【辻中籠】

親族 原 部 千鶴香 様

故 原 部 功 様

親族 永 水 房子 様

故 永 水 義明 様

【山野第二】

親族 永 光 房子 様

故 永 光 平信 様

【枝坂】

親族 平 野 カチヨ 様

故 平 野 準人 様

【光代】

親族 佐 藤 ハルミ 様

故 佐 藤 昭夫 様

【上白井下】

親族 有 吉 博幸 様

故 有 吉 ヨシミ 様

【中山田下】

親族 深 水 冷子 様

故 深 水 邦泰 様

【一般寄附】

嘉穂の名水愛好者一同 様

下牛隈 匿 名 様

【テレフォンカード】

山野第二 平 明子 様

【子育てリユース】

平第二 手柴 加代子 様

銭代坊 工藤 恵 様

【アルミ色】

飯塚市 匿 名 様

宮吉 匿 名 様

下牛隈 和田 友香 様

上 田中 陽子 様

石ヶ崎 渡邊 美千代 様

ゆうひが丘 馬場 万里亜 様

下白井西 井上 忍 様

六四田 松田 敏雄 様

石ヶ崎 渡邊 美千代 様

尾浦第一 前田 シズヨ 様

百々谷 吉元 悦子 様

下宮 三好 邦央 様

本町 室井 榮子 様

天神 島田 睦男 様

中央 明石 睦則 様

中山田上 匿 名 様

下牛隈 畠中 鈴香 様

嘉穂才田 大屋 由美 様

セレモニーホールおつか 様

嘉穂っ子キッズ 様

【リングブル】

西郷 斉藤 孝志 様

石ヶ崎 渡邊 美千代 様

古河 甲斐 良子 様

熊ヶ畑第二 樋口 蓮 様

熊ヶ畑第二 樋口 想 様

熊ヶ畑第二 樋口 陽樹 様

蛭子 樋口 陽樹 様

下宮 武田 悦子 様

下牛隈 三好 邦央 様

和澄 澄子 様

牛隈北区 吉原 久美子様
西岩崎 匿名 名様
桂川町 中川 久美子様

【古切手】

石ヶ崎 渡邊 美千代様
蛭子 武田 悦子様

牛隈北区 吉原 久美子様

下牛隈 和多 澄子様

下牛隈 匿名 名様

長野保育所 匿名 名様

下山田郵便局 匿名 名様

グランドベルズ飯塚 匿名 名様

【使用済みテレフォンカード】

下牛隈 和多 澄子様

下牛隈 匿名 名様

【書き損じはがき】

牛隈北区 吉原 久美子様

下牛隈 和多 澄子様

【はがき】

下牛隈 和多 澄子様

お詫びと訂正
第55号(9月1日発行)のリングプル寄附の記事で、
貞月 大屋 由美 様
となっていました、
貞月 大屋 由理子様
の誤りでした。
お詫びして訂正いたします。

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々にご
加入いただきました。

(敬称を省略させていただきます)

8月16日～9月15日受付分

【個人会員】

〈鴨生北町〉中須サカエ、梅木
信吉、梅永昭江

〈山野第一〉東富見子

〈稲築才田〉重松垂未

〈才田日吉〉松尾キミエ

〈枝坂〉野中淑子

〈漆生老松〉森崎英子

〈漆生本村〉松熊三和子

〈漆生中央〉田中英樹

〈東岩崎〉赤間正久、秋穂美佐
子、松岡フミ子、松岡麻里子、

山本賢次、須藤カツミ、白川

八重子、山下千恵子、山下久

美子、中嶋正光、中嶋ヨシエ、

原田キヨ子、山下和博、山下

祐二、松本寿弘、金丸マサ子、

松尾宗幸、平畑倫太郎、広田

鶴子、野見山久、西野富士子、

野見山春喜、秋穂裕美、井上

勝之、茶園司、金丸剛司、秋穂

福光、福沢敬二、松岡朝太郎、

松岡ミエ、中嶋久信、中嶋清光、

赤間司朗、赤間喜美代、井上進、

松尾トシ子、松尾斗四生、

松尾トシ子、松尾斗四生、

洲上末男、沖繁代、滝本豊、香
川静子、山下タマノ、山下巖、
茶園愛子、北原和江、横手イ
ソミ、高倉清美、平塚道子、瀬
戸五六、山下君子、野上政代、
渡辺静江、金丸千鶴子、山下
和代、山下サヨミ

〈上臼井上〉穂本スミエ

〈笹原〉佐藤有香

〈本町〉小野弘助、小野キミエ、
小野敦史、柴田素代、安武幸子、
鷲谷嘉一、中村智美、宮崎裕、
大野多美子、野中スエ子

〈天神〉城丸貴久枝、城丸正治、
赤木松夫、木下俊明、島田睦男、
島田久子、鳥居香代子、中野
達男、野見山喜代子、松岡一彦、
松岡由美、松岡梅香、米澤成美、
井上智子、井上誠、江藤富美子

〈下宮〉難波江照彦、相良裕子、
有吉国士、岩下一女、井上正一、
広谷毅、森茂、大塚秀樹、内橋
正、本岡サナエ、古賀聖一、松
下シゲ子、篠原孝子、平野千
恵子、中村光明、石松初美、仲
道正行、松岡ミツ、清水礼子、
小野京子、沖一芳、今村きよこ、
森勇夫、入江芙美子、浦田行彦、
佐野敦、都築光一、坂本智恵子、
松岡典子、林田一輝

〈尾浦第一〉大塚美代子、角貴
久子、加藤民子、筒丸繁昌、
筒井延彦

〈尾浦第二〉下川明世、松尾ヒ
サヨ、三浦和子、大重昇、西豊
子、豊義満(三口)、前田澄子

〈三菱第一〉中村民子

〈長野〉高松千代

〈立石〉松隈信一、和田守之、
山本シズエ

〈古河〉長坂篤子

〈ゆうひが丘〉梶嶋周介

〈新原〉美根福市、美根信子、
大門勉(二口)、大門環、猿本
勲(二口)、猿本トメ子(三口)、
岡部国光、林勝、吉田美代子

〈さくらが丘〉近藤初美

〈木城〉大倉キミ子

〈貞月〉大屋日出紀、大屋由理子

〈下牛隈〉和多澄子、和多則幸、
和多茂美

〈椎木〉岩下靖弘

〈屏〉田中伊津美

〈千手〉川上ハルミ、篠崎智津子

〈鳴生北町〉鳴生鍼灸整骨院

〈東岩崎〉嘉穂観光

お詫びと訂正
第55号(9月1日発行)の社
協会費個人会員の記事で、
〈山野第一〉有馬栄治様
となっていました、
〈山野第一〉有長栄治様
の誤りでした。
お詫びして訂正いたします。

お詫びして訂正いたします。

お詫びして訂正いたします。

お詫びして訂正いたします。

お詫びして訂正いたします。

お詫びして訂正いたします。

お詫びして訂正いたします。

11月の総合相談

法律相談は予約が必要ですので、お早めにお申込みください。

法律相談

と き: 11月4日(木) 13:00~16:00
と ころ: 山田ふれあいハウス

と き: 11月18日(木) 13:00~16:00
と ころ: 稲築住民センター

心配ごと相談

と き: 11月10日(水) 13:00~15:00
と ころ: 稲築住民センター

と き: 11月24日(水) 13:00~15:00
と ころ: 稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

心のキャンバスに自然がいっぱい！

長谷山、古処連峰が眼前に迫ってくる爽やかな景色は、我が家の縁側からみえる自然からの贈りもの。そんな碓井の地に生まれ育ちました。

毎日みせてくれる様々な山の表情を眺めながら登校していた小学生、中学生時代を思い出します。帰り道、友だちと田んぼ

のあぜ道に飛び降りて草花を摘んだり、駆け回って鬼ごっこをしたり、自然の中で楽しみました。田んぼの一面に広がったレンゲ草、川沿いにはタンポポ、アザミ、様々な花で気分が明るくなりました。ゲジゲジ(通称。正式名称は?)の幹をしゃぶって甘酸っぱい味を楽しみ、得したような気になつていたのは、単なる食いしん坊?と笑ってしまいます。時には母と一緒にセリを摘み、夕食の食卓に並ぶと、「私がつってきたとばい!」と自慢したものでした。そんな嬉しい春でした。

嫁ぐまでの23年間、嬉しいときも悲しいときも、辛いときも、四季折々の自然が私の思いをいっぱい吸い取ってくれたように思います。特に、親と意見が合わず悔しかったとき、長谷山に沈んでいく真っ赤な夕日を眺めていると、心のモヤモヤを取り去ってくれるようで気持ちの整理ができたことも記憶しています。

ふるさとを離れて35年、現在は奈良県で生活していますが、毎年帰省するたびに碓井の地に立ち寄り、懐かしい景色を味わっています。不思議と心が穏やかになり、ほっこりとしています。

今は、育った家も取り壊され、荒れた土地がひっそりと寂しげに思い出だけを守り続けてくれていますが、それでも、家の跡地に残っている庭を歩き回ると心が和みます。周りの景色もすっかり変わってしまったけれど、目の前に広がる山々が、私を歓迎してくれます。

そして、こんな声も聞こえてくるかのようです。「帰ってきちゃったねー!」と、亡くなってしまった隣のおばちゃんの声。「元氣しちよったねー!」と、テレビがなくて、よくみせてもらった友だちの声。また、中学生のときに、遠い世界へ行ってしまった父、働き通しで苦勞して子ども6人を育てあげ、父のところへ行ってしまった母の姿も、そこにあります。決して豊かでなかった生活も、振り返ると、いっぱい自然に助けられ、慰められて生きてきたんだと感じます。

周りのようすや世代は変わっても、ふるさとの景色は、この先もずっと私の心に残っていくことでしょう。ふるさとが大好き!そう思わせてくれるふるさとに感謝しています。



かしはら
奈良県橿原市在住
野上 和子さん(62歳)
上臼井出身

市民のみなさんと共に 福祉のまちづくりを推進していくために

嘉麻市社会福祉協議会は、市民のみなさんと共に福祉のまちづくりを推進していくため、毎年度会員の募集を行っています。

本会の活動に賛同して納めていただいた会員会費は、地域福祉充実のための活動や、新たな福祉課題に対応するための先駆的事业等の財源として活用させていただきます。ぜひ、ご理解いただきまして、福祉のまちづくりに会員としてご参加ください。



■会費の種別と金額 一般会員 1口 1,000円/年額 法人・団体会員 1口 3,000円/年額
お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751



(写真提供:摩治邦廣さん)

炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。
まずは、嘉麻市社会福祉協議会
(TEL 0948-42-0751)までご連絡ください。

この写真は、三井山野炭鉱の山野鉱業所にあった第一・第二堅坑槽を間近で写したものです。

この下には、第一が490m、第二が690mの深さの垂直の穴(堅坑)が掘られており、坑内への昇降や採掘した石炭の荷揚げを行っていました。

実際にこの鉱業所で作業をされていた坂川一義さん(緑ヶ丘)に、当時の様子を伺いました。堅坑槽には、ケージと呼ばれるエレベーターのような箱があり、90秒程度で地下に降りていたそうです。そこから、作業場まで徒歩で向かいますが、坑内はととても暑く、梅干しと氷は必需品で、交互に口を含みながら作業していました。帰っても、身体の熱がなかなかひかず、夜は寝苦しかったことを覚えているそうです。坂川さんにとって、炭鉱での仕事は、辛く厳しいものでしたが、今になってこの写真を見ると、その辛さも懐かしく感じるようで、炭鉱の思い出話がつきることはありませんでした。



シリーズ